

「乾田直播栽培」の検証について

■概要

急速に技術普及が進む「乾田直播栽培」について、本市における乾田直播栽培技術を活用したコメの作付けについて、生育状況や収量など、その実効性の検証を目的として、試験栽培を行うものである。

【基本情報】

	作付品種	作付面積	播種量	平均単収
取組者 A	あきたこまちR	3102.27a	7 kg/10a	180 kg

【ほ場の作業】

直播栽培のため、移植栽培と比較するとほ場における作業時間が短縮される傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
4/7～4/12	・基肥散布 (ブロードキャスター)	・sUX-HTP ペレット
4/9～5/9	・耕耘 (ディスクティラー)	—
4/26～5/12	・播種床作り (バーチカルハロー)	—

【播種の作業】

直播栽培のため、移植栽培と比較するとほ場における作業時間が短縮される傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
5/1～5/11	・播種 (ドリルシーダ)	—

【発芽期の作業】

乾田直播のため、ほ場が乾燥状態であり、作業効率が高い傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
5/2～	・除草剤散布 (ブームスプレーヤー)	・ラウンドアップマックスロード (500ml/10a を 200 倍希釈) ・マーシェット乳剤 (500ml/10a を 200 倍希釈)
5/29～	・発芽を確認	—
6/6～	・除草剤散布 (ブームスプレーヤー) ・追肥 (ブームスプレーヤー)	・ノミー液剤 (200ml/10a を 500 倍希釈) ・イーストガード (20ml/10a を 5,000 倍希釈)

作業日	作業内容	使用資材
6/25～	・除草剤散布 (ブームスプレイヤー)	・クリンチャーバス ME (1,000ml/10a を 100 倍希釈) ・ロイヤント乳剤 (200ml/10a を 500 倍希釈)
	・除草剤散布時に同時散布 (ブームスプレイヤー)	・アイアンガード (10ml/10a を 10,000 倍希釈) ・K3NEO (10ml/10a を 10,000 倍希釈) ・テカミン MAX (20ml を 5,000 倍希釈) ・べっかい汁 (10ml/10a を 10,000 倍希釈) ・MCM (20ml/10a を 5,000 倍希釈)

【発芽期から出穂期までの作業】

畑地雑草が繁茂する傾向にある。

作業日	作業内容	使用資材
7/17～	・除草剤散布 (ブームスプレイヤー)	・トドメ MF 乳剤 (200ml/10a を 500 倍希釈) ・ロイヤント乳剤 (200ml/10a を 500 倍希釈)
7/26～	・追肥 (ブロードキャスター)	・BASEUP (20kg/10a) ・尿素 (20 kg/10a)
8/20～	・出穂を確認	—

【出穂期から収穫までの作業】

慣行栽培でも落水期であるため、作業自体は変わらない。

作業日	作業内容	使用資材
9/4～	・ぼうかめムシ防除 (ドローン)	・スタークルメイト (100ml/10a を 8倍希釈)
10/14～10/24	・収穫 (コンバイン)	—

【観測写真】

月	近景	遠景
5月		
<p>・播種後、雑草が目立つが一部で発芽を確認できた。</p>		
6月		
<p>・圃場全体で生え揃っているが、やはり雑草が多く見られる。</p>		
7月		
<p>・稲の背丈も伸び、雑草対策の効果も見られ、田んぼらしくなった。</p>		

8 月		
<p>・分けつもみられ、出穂を確認。雑草が再繁茂してきている。</p>		
9 月		
<p>・穂が出揃っているのに、雑草が抑制しきれず全体へ広がっている。</p>		
10 月		
<p>・登熟期を迎え、重みで垂れてきているが、雑草に覆われてしまっている。</p>		